

学校評価(共通項目)評価書

朝霞市立朝霞第九小学校

柱	No	評価項目	自己評価	自己評価の説明及び学校の考え	関係者評価	学校関係者評価者の説明
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。	B	・共通理解と共通行動で全教職員が取り組み、個人に負担が集中しない取組が必要である。 ・共有フォルダの整理整頓・マニュアル作成・転出入記録の見える化などで効率化を図り、働き方改革を推進していく。	A	・校長を中心に皆頑張っており取り組んでいる。 ・教職員が一丸となって取り組んでいる。 ・教職員間の情報共有に課題が身らることがある。 ・行事では、生き生きとした児童の様子を見ることができた。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。 (※いじめの未然防止と早期発見、再発防止等の組織的な対応を含む)	B	・教室は照度検査を経て適切な明るさがあるが、廊下・階段の採光は、改善する必要がある。 ・生徒指導部を中心に、その都度の対応や毎月の調査など、いじめ対策に組織的に対応している。	A	・校長を中心に皆頑張っており取り組んでいる。 ・コロナ感染防止に努めていた。 ・いじめ対応等に課題が多い。 ・校舎の老朽化もあるが、その都度安全に対応してきた。 ・いじめ、不登校に対しても個別に解決に向けて努力している。 ・不審者対応で、複数での下校を推奨したい。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	B	・学力が下位の児童への手立てが必要。 ・少人数指導の充実、放課後残せる時間の確保など、工夫して改善を図りたい。	B	・教員は頑張っているが、児童の学力UPは大変なことである。 ・繰り返しの指導が必要。 ・読む・書く力が課題。 ・分からないままになっている児童が心配。 ・学力に個人差はあるが、児童は学習に積極的に参加している。 ・教職員の負担が大きい、複数対応で取り組んでいる。
	4	学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	A	・プリント等、書く力・書くこととする意欲ができたように感じる。 ・読む力・読もうとする意欲に課題があるので、読解力をつける校内研修、または、モジュールで学力テスト等の長文問題への取り組みをするなどの工夫が望まれる。	A	・教員は、教材研究等授業改善に努めていると思う。 ・児童の興味・関心を高める取り組みを続けてほしい。 ・プリント学習に工夫・改善が欲しい。 ・タブレットを効果的に使用することで、児童の集中力を切らさない取組を工夫していた。 ・家庭学習の習慣化を意識させてほしい。
規律ある態度の育成	5	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。	B	・職員が、共通理解・共通行動で一貫した指導を行う必要がある。特に、廊下歩行の安全面などは、徹底したい。 ・生活目標などをもう少し活かせるように、指導方法を直していきたい。	B	・児童は挨拶等しっかりできている。 ・様々な個性の児童集団で、一律の指導が難しい中ですが、基本的な生活習慣を身に付けることの大切さを伝えてほしい。 ・教員ごとの指導のばらつきが懸念される。 ・カインズができて放課後の環境が変わってきた。防犯面での指導を引き続きしてほしい。 ・夕焼けチャイム厳守、他人を不快にしない言葉遣い、SNSの家庭内ルールの徹底などを考えていきたい。
	6	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。	B	・休み時間のタブレット使用について、ルールなどを学校で統一できるとよい。 ・名札着用の徹底を促す取組を行いたい。	B	・教員は組織的に取り組んでいる。 ・教職員は、学習指導のみならず生徒指導にもきめ細かい取り組みをしている。 ・ルールの一環性を確認する必要がある。 ・タブレット使用のルールを家庭とも連携して統一したい。 ・丁寧に対応している。
健康・体力向上	7	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	B	・晴れた日にも休み時間にタブレットで教室で遊んでいる児童が見受けられるので、個々の状況に配慮しながらも、基本的に晴れた日は外で遊ぶことを推進したい。	B	・広い校庭を活用しての体育や遊びが盛んである。 ・マンネリ化しないためにも、外部の専門家を招くなどの新鮮な取り組みが、チャレンジ精神や興味を湧かせるのではないかと。 ・以前より運動場で遊ぶ児童が減っていないか。 ・個人差はあるが、運動嫌いにならないでほしい。
	8	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	A	・運動面でも、学校応援団や地域人材を活用して児童が興味をもって体力向上に取り組むことが望まれる。	A	・計画的に取り組んでいる。 ・探求心や向上心を掻き立て、やりたい、やってみたくて児童が自ら率先して取り組める活動を期待する。 ・クラスレクなどで体を動かしたい。 ・運動場で遊ぶ児童が多い。放課後も公園で走り回る様子をよく見かける。 ・体力カードの取組は、家庭では難しい。
連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。	B	・くみまちモール(カインズ朝霞店)との連携など、地域の環境を生かした取り組みで、教育環境の整備を推進していきたい。	A	・コロナ禍で連携ができないことがあったのではないかと。 ・学校だよりが大変良く、取組が見える。 ・コロナ禍でも前向きに取り組んできた。地域の人々との関わりを増やせるとよい。 ・更なる連携が必要。 ・コロナ禍だが、学校に足を運ぶ機会が増えた。 ・学校は話を真摯に聞いてくれる。 ・カインズ見学など、地域を知ることが大切だと思った。 ・地域住民が増え、学校として積極的に活動していると思う。
	10	保護者や地域は、学校と協力し合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。	B	・スクールガードリーダーや学校保護者連絡会の見守り活動を軸に、児童の見守りを推進している。	B	・コロナ禍で連携ができないことがあったのではないかと。 ・学校だよりが大変良く、取組が見える。 ・朝九小は、地域との連携が密で素晴らしい環境である。 ・以前に比べ、見守り活動等がうすくなっていないか。 ・登下校は保護者や地域の方の見守りで、安全にできている。 ・自治会との協力も必要では。 ・コロナ禍が落ち着いてくれば、もっと連携できるのではないかと。

注:「自己評価」及び「関係者評価」の欄はA~Dで記入

Aは4点、Bは3点、Cは2点、Dは1点で換算した平均値から、A:3.4以上、B:2.6以上、C:2.0以上、D:2.0未満